研修の進め方と設計の注意点（4）

2022/07/15

「標準販売管理プログラム」の全体を理解していただき、このプログラムを追加変更して、皆さんの会社用のプログラムに改良できるように、変更の仕方を中心に説明いたします。

個々のメニューの動きについては、私のWEBサイトをご確認お願い致します。

VBAの個別の使用方法よりも、全体とのつながりを通じて、実務でのVBAを中心に説明します

この研修は学校の勉強ではありません。試験のための勉強ではありません。

従って、理論よりも実践を重要視した研修会となります。

いかに正確に、いかに間違いなく、いかに統一したプログラムが大事です。

覚えるのは、自分が使いたいロジックがどのメニューで使われているかです。

そのメニューをコピーして、変更して使うだけです。

まず、「標準販売管理プログラム」のMENU画面を印刷して、概略設計のたたき台にします

いらないメニューをカットし、不足のメニューを追加します  
販売管理プログラムを始めて作るのであれば、最初から広げすぎるのは、非常に難しいです。

やりたいことの全体を決めたら、第1ステップ、第2ステップ、第3ステップと分ける必要があります

次に伝票入力画面とマスタ登録画面を印刷して、不足のテーブルや項目を追加します  
テーブル名やフィールド名、変数名等も皆さんの意に沿わないかもしれませんが、このまま利用したほうが、完成も早く、イージーミスも減ります。

何よりも、統一されているからです。後からメンテナンスをする人が混乱しないように、全プログラムが同じ開発方法で作ることが一番大事です。

画面サイズは、実際に業務で使われるパソコンのサイズに合わせる必要があります。  
開発はデスクトップで、業務はノートパソコン　等の時はサイズに注意してください  
  
開発者一人が使用するのであれば、どのような作り方をしてもいいでしょうが、慣れない人が複数で同時に使用する時は、何が起きるかわかりません。

エラー入力のチェックが肝心です。

おかしなデータが入力されないようにする必要があります。

開発に当たっては、

会社のメイン業務を管理する販売管理システムは、できれば数名で開発したほうがいいです。

**「3人寄れば文殊の知恵」、これは本当です**。多分、日常業務でも感じられているでしょう、

一人では、とんでもない勘違いをすることがあります。後から指摘されて、取り返しがつけばいいのですが、そうでなければ、開発が大幅に遅れます。操作性も人の意見を聞いた方が良いです。

尚、お客様と私の研修の考え方があまりにも違う時は、私の方から研修の続行を中止することがあります。

予めご了承ください。